

平成 28 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 29 年 3 月 10 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類・教授

申 請 者 名 杉森 大助

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営・○学会参加) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事 業 名	日本生物工学会 第 7 回学際的脂質創生研究部会への学会参加
事業実施期間	平成 29 年 1 月 27 日 ～ 平成 29 年 1 月 28 日
成 果 の 概 要	<p>日本生物工学会 第 7 回学際的脂質創生研究部会に参加し、幹事委員として座長を務めるとともに、講演会の運営を行った。</p> <p>本講演会では、脂質工学分野において第一線で活躍している先生、および若手の研究者による講演と一般研究発表により構成されている。</p> <p>3 題の講演のうち、産総研生物プロセス研究部門の神坂氏による「出芽酵母による機能性脂質の生産」では、出芽酵母 <i>S. cerevisiae</i> は種々の情報やツールが整備されたモデル生物で物質生産に利用される産業微生物としても重要であるが、出芽酵母は脂質含量が低く、脂質生産の宿主として利用するためには脂質含量の向上が大きな課題となっていることを理解した。本講演では遺伝子改変を行うことで脂質含量を向上させるために形質転換株の構築およびその代謝機構の検討と、この脂質蓄積性株を用いたパルミトオレイン酸等の機能性脂質の生産について紹介され、今後研究を進める上で有益な知見が得られた。</p> <p>その他にも、広島大や京大の学生による一般研究発表において、脂質関連生理機能や脂質代謝酵素などについて最新の研究成果発表を聴講することができ、今後の教育、研究の参考となる知見も得ることができた。</p>